

令和6年度  
事業計画書

居宅介護支援事業所

大津みやび野ホーム居宅介護支援事業所

## 1. 事業の内容

事業の指定	居宅介護支援事業所
事業の名称	大津みやび野ホーム居宅介護支援事業所
指定番号	2874007582
施設の所在地	〒671-1146 姫路市大津区大津町一丁目 31-111 TEL 079-236-8180 FAX 079-236-3180
事業開始	平成26年4月1日
管理者	管理者 矢内ゆり
通常の実施地域	姫路市・太子町
営業日	月曜日～土曜日（日曜・祝日・12/29～1/3は定休日） （業務日外の電話相談については、転送電話にて対応する）
営業時間	9:00～17:45 （業務時間外の電話相談については、転送電話にて対応する）

## 2. 事業目標

次に掲げる年度目標の具体的対応策を周知・実行し、理念の実現を目指す。

目 標	<p>困りごとに対して、寄り添いながら課題を分析し、課題解決に向けた提案が円滑に行えるなどアセスメント力の向上に努めていくことで、利用者や家族の自宅生活への想いを尊重した居宅サービス計画書の作成を図る。</p>
理 由	<p>利用者が自宅など生活したい場所で、利用者自身が選択した方法で、その人らしく生活できるケアマネジメントに取り組むため。 利用者や家族が住み慣れた地域で安心した生活が送れるように利用者個々の課題に対して、解決策を丁寧に一緒に検討していける支援者であり続けたいため。 利用者や家族に対して、地震など自然災害時にも冷静かつ迅速に対応できる業務継続計画を策定したため、手順や方法を見直していくことで、災害時にも支援の継続を図りたいため。</p>
具体的対応策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業所のアセスメント様式を見直すとともに可視化した事例検討を繰り返し行い、アセスメント力の向上に努める。</li> <li>2. 各職員がモチベーション向上を目的とした研修に参加し、知識と技術を習得する。</li> <li>3. 地震等自然災害時にも冷静かつ迅速に対応できるように机上訓練に取り組む。医療依存度の高い利用者や独居生活の利用者など確認優先度の高い利用者について事業所内での共有を図る。</li> </ol>

### 3. 職員配置

円滑なケアマネジメント業務を行うために次の人員を配置する。

職 種	常勤	フルパート		パート		合 計	
		人数	換算	人数	換算	人数	換算
主任介護支援専門員 (管理者兼務)	4			1	0.8	5	4.8
介護支援専門員							
合 計	4			1	0.8	5	4.8

### 4. 施設内職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研 修 名	対 象	研修担当
4月	倫理及び法令遵守、 個人情報保護に関する研修 人権意識〔身体拘束〕について	全職員	理事長・施設長・事務長 身体拘束虐待防止委員会
9月	BCP訓練について	全職員	大津みやび野エリア (特養、デイ、居宅、包括)
10月	リスクマネジメントについて (リスク意識)	全職員	リスク管理委員会
11月	感染症について (ノロ、インフルエンザ)	全職員	感染委員会
2月	介護保険制度について	全職員	施設長
	高齢者虐待防止研修	全職員	大津みやび野エリア (特養、デイ、居宅、包括)
3月	リスク管理研修	全職員	リスク管理委員会
毎月	ケアマネジメント研修 事例検討	居宅介護支援専門員	居宅介護支援専門員

- ※ 新任職員入職時には、理念、法令遵守、リスクマネジメント、感染症予防対策、各専門職種からの留意事項などの研修を行う。
- ※ 新任職員は、やながせ福祉会で行う合同新任職員研修に参加する。
- ※ 特別養護老人ホームの施設内研修に参加する。

## 5. 研修計画

各職員の職種と役割、経験年数に合わせて、習得すべき能力やスキルを明確にし、事業所としての水準の底上げを図るため、それぞれに応じた研修への参加を促す。

対 象	研 修 内 容	研 修 名
法人全体	・「持ち込まない」「広めない」「持ち帰らない」感染症対策について	感染症対策研修
法人全体	・大雨、洪水、高潮など自然災害時の対応について	災害対策研修
法人全体	・人権意識、倫理観について	人権擁護研修
法人全体	・福祉、介護の専門職として、持つべきマナーなどについて	接遇研修
法人全体	・健康管理について	産業医研修
管理者	・衛生管理について	人事・労務管理研修
中堅職員研	・リーダーの役割、業務改善、課題達成提案、コーチングについて	マネジメントリーダー研修